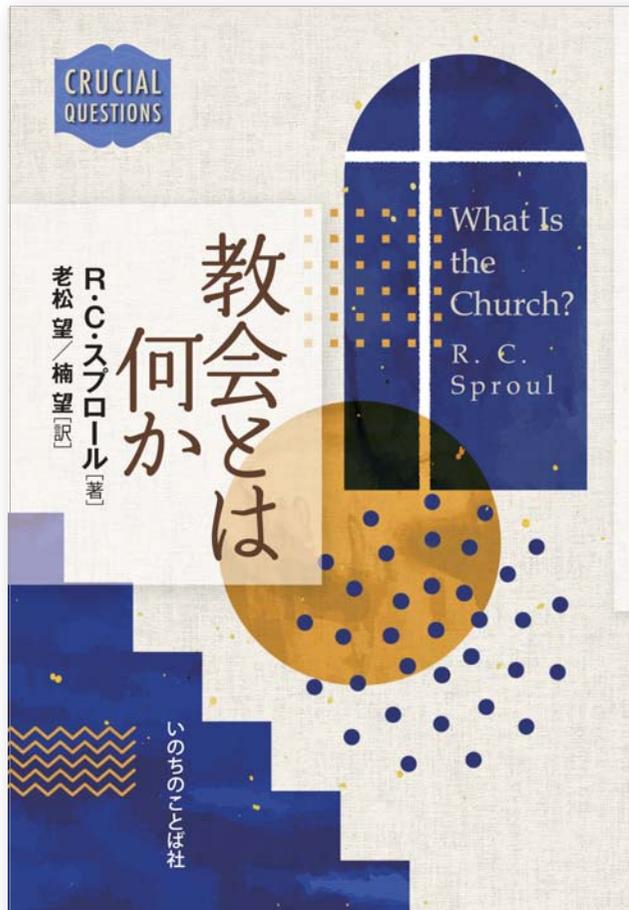


クルーシャルクエスチョンズシリーズ

教会とは何か

R・C・スプロール 著 老松望、楠望 訳

一つであること、聖であること、公同性、使徒性、見える教会、見えない教会、戒規、教会が教会でなくなる可能性など、さまざまな面を考察しながら、聖書に記された教会の正しいあり方を明示する。一步踏み込んだ入門書シリーズ。第4弾。



B6判 76頁 定価990円(本体900円+税)
ISBN978-4-264-04531-1 C0016
いのちのことば社 卸コード 14155

R・C・スプロール (R.C. Sproul)

1939年、米国ペンシルバニア州ピッツバーグに生まれる。フロリダ州サンフォードのセント・アンドリューズ改革派教会の牧師、改革聖書学校 (Reformation Bible College) 顧問として奉仕。「リゴニア・ミニストリーズ」(神学教育および伝道団体) の設立者。90冊以上の著作があり、邦訳されているものに『非キリスト教的思想入門』(2003年)、『何からの救いなのか——神の恵みの奥義』(2008年)、『洗礼とは何か』(2016年)、『聖餐とは何か』(2017年)、『三位一体とは何か』(2018年)、『信仰というレース——使徒信条から学ぶキリスト教入門』(2021年、電子書籍) (以上、いのちのことば社) がある。2017年12月逝去。